業　　績　　調　　書（記入例）

氏　名　　　（旧姓名の記載も可）　　　　　　　　　　　　　　　　令和　　年　　月　　日現在

|  |
| --- |
| 著書、論文、学会発表及び研究報告等［ 著者名、著書・論文等名（査読の有無）、発行元・誌名、巻号、頁、発行年月、出版社名、分担執筆等を記入する。］（著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し、以下を「他」として省略しても可。） |
| 【著書】１．宇大花子編著：○○○○○○○○○○○○○○○○○○，○○出版，ISBN978-4-1111-2222-3，担当部分：第○章「○○○○○」（pp.164-201），全○ページ，1999.12.〔分担執筆〕【国内論文（日本学術会議協力学術研究団体が発行する刊行物（査読制度が設けられているものに限る。））】１．栃木太郎，宇大花子：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○，○○○学会誌，Vol.22，No.2，pp.124-132，1999.2.，（出版社名）〇〇学会【国外論文（インパクトファクター付論文）】１．Taro Udai，Hanako Udai：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○，○○○ Journal, Vol.123，pp.5512-5520，2004.12. ，〇〇Publishers【国際会議論文（プロシーディング （講演要旨集）など）】１．Taro Udai，Hanako Udai：○○○○○○○○○○○○○○○○○○（査読付），International Conference on ○○○ ，pp.551-558，2018.12.【紀要】１．宇大花子，栃木太郎，他：○○○○○○○○○○○○○○○○○○（査読無），○○○大学紀要○号，pp.14-20，1999.6.【学会発表】１．宇大太郎：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○，○○学会第55春季年会講演要旨集，p.1234，2005.11.２．宇大太郎：○○○○○○○○○○○○○○○○○○，○○学会○○大会（東京），講演番号A-1234，2002.12．【作品等】１．宇大太郎：○○○○○展示会出展，2014.1.【その他】※上記に該当しないものは，以下の『その他』欄に記載する。（提出時は、本説明文は削除する。）（研究報告）１．宇大太郎：○○○○○○○○○○○○○○○報告，○○○科学, No.4, p.123，2009.9.（特許）１．宇大太郎：○○○○○○○，特許第○○○○○，2013.6.（国内論文（査読無））１．栃木太郎，宇大花子：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○，○○○学会誌，Vol.22，No.2，pp.124-132，1999.2.，（出版社名）〇〇学会（国外論文（インパクトファクター無論文））１．Taro Udai，Hanako Udai：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○，○○○ Journal, Vol.123，pp.5512-5520，2004.12. ，〇〇Publishers（提出時は、以下の説明文は削除すること。）＊著書で共著の場合、分担ページ及び担当部分のタイトルを記載する。　＊著書には、個人又は研究者グループ等が、学術研究の成果を公開するために刊行したものであって、ISBNが付与されている図書（以下に該当するものを除く）を記入する。①　既に類似の成果が刊行されているもの。②　既にインターネットや学術誌等を通じて公表されている論文、又は公表が義務づけられている論文（例：博士論文）を単に集成し、刊行するもの。　　③　学術研究の成果とは言い難いもの。　　④　大学、研究所等の研究機関及び学術団体等がその事業として翻訳・校閲・刊行すべきもの。　　⑤　出版社等の企画によって刊行するもの。　　⑥　市販しないもの。　＊翻訳について、その翻訳物がISBNを付与された書籍に掲載される場合は、著書への記載ができる。　＊インパクトファクター付論文とは、Clarivate Analytics社のJournal Citation Reportsが公開しているインパクトファクター（文献引用影響率）が付与されている論文のことである。　＊インパクトファクターが付与されていない論文の内、Scopus（Elsevier社）に採録されている論文、または、インサイツ（Clarivate Analytics社）に採録されている論文については、国外論文（インパクトファクター付論文）に記載できる。　＊日本学術会議協力学術研究団体が発行する刊行物の内，外国語で作成され，かつ，インパクトファクターが付与されている論文については、国外論文（インパクトファクター付論文）に記載する。＊修士論文、博士論文は加えない。＊発行年月の新しい順に記載する。＊論文で共著の場合、著者名にアンダーラインを付す。なお、自身がコレスポンディング・オーサーの場合は、著者名にダブルアンダーラインを付す。　＊査読中のものは記載しない。　＊国際会議論文及び紀要については、査読の有無を記載する。　＊作品等には、以下の①または②に当てはまる場合記載できる。①　第３者によって評価がなされ公開されているもののうち、公的機関※が設置する文化芸術施設（美術館、博物館、劇場、音楽堂、文化ホールなど）による賞・表彰を受けたもの、もしくは全国紙や芸術系専門誌の批評に掲載され、評価されたもの。私的な団体や個人による賞・表彰、及び一般誌における掲載物は除く。（※国、地方公共団体または文化・芸術の振興を目的としており行政庁（内閣府または都道府県）からの公益認定を受けている法人）②　公的機関が設置する文化芸術施設による招待、あるいは審査を経て、公的な作品展・芸術祭にて公開されているもの。自大学において研究成果発表として公開する作品は除く。　 |

|  |
| --- |
| 学会活動、社会活動等（役職名、期間等も記入） |
| 　【学会活動】・○○○国際会議実行委員会，委員長， 2010～2012年.・○○○国際会議実行委員会，副委員長，2006～2008年.　【社会活動】・△△県○○○評価委員会，委員長，2012年～現在・○○学会△△調査専門委員会，委員，2005～2007年.【その他】新聞，雑誌記事，テレビ放映・ラジオ放送などの報道，広報誌への掲載，出展などを記入。 |

|  |
| --- |
| 外部資金獲得状況（期間等も記入） |
| 【科学研究費補助金】・2010～2013年度，基盤研究(A)，○○○○○に関する研究，○○○千円，分担・2006～2008年度，若手研究(B)，□□□□□に関する研究，○,○○○千円，代表　【共同研究，受託研究】・（共同研究）　2013年度，○○の測定技術に関する研究，○○工業(株)，○○○千円，代表・（受託研究）　2011年度，○○の測定，○○○(株)，○,○○○千円，代表　【寄付金】・2009年度，○○に関する研究助成，○○工業(株)，○○○千円【その他】　上記以外の競争的資金等を記入。＊学内と学外とを分けて記載すること。〔学外〕・2006～2008年度，国土交通省建設技術開発助成制度，□□□□□に関する研究，国土交通省，○,○○○千円，代表〔宇都宮大学〕・2010～2013年度，平成21年度学内若手教員研究助成，○○○○○の開発，宇都宮大学，○○○千円，代表（提出時は、以下の説明文は削除すること。）＊新しいものから順に列記し、件数が多い場合は末尾に「他○件」と記入する。＊分担の場合、分担者に配分された金額のみを記入する。（研究代表者の研究費総額ではないので留意すること。）＊民間企業等からの採用者において、上記の区分（科学研究費補助金、共同研究、受託研究、寄附金）になじまない資金の獲得がある場合は、【その他】欄に適宜記載する。 |

|  |
| --- |
| 教　育　実　績 |
| ティーチング・アシスタント○○大学大学院○○研究科博士前期課程〇〇専攻在籍時　2013年5月～2014年10月（※教育実績が多数ある場合は省略可とする。（提出時は、本説明文は削除する。））リサーチ・アシスタント○○大学大学院○○研究科博士後期課程〇〇専攻在籍時　2015年4月～2017年9月（※教育実績が多数ある場合は省略可とする。（提出時は、本説明文は削除する。））○○○大学○○学部准教授【担当授業科目】教養教育科目　　　　　　　　　　　　　　　　　 ○○○○学　　　　　　　　　　　　　　　　　 ○○○○学（オムニバス，担当者総数○名）○○学部専門科目（○○学科専門科目） ○○工学及演習I（演習） ○○工学実験I（実験）（分担，担当者総数○名）） 卒業研究（分担，担当者総数○名）） 大学院科目（○○工学専攻，博士前期課程） ○○工学特別研修I ○○工学特別実験I（分担，担当者総数○名））大学院科目（○○工学専攻，博士後期課程）○○工学特別研修I ○○工学特別実験I（分担，担当者総数○名））＊原則として、過去１年以内の実績を記入する。（提出時は、本説明文は削除する。）　【研究指導】（○○○○年度）　＊最新年度を記入する。（提出時は、本説明文は削除する。）博士前期課程修了者　　主指導　○名副指導　○名博士後期課程修了者　　主指導　○名　　　　　　　　　　　副指導　○名（上記以前の年度の合計）博士前期課程修了者　　主指導　○名副指導　○名博士後期課程修了者　　主指導　○名　　　　　　　　　　　副指導　○名　【非常勤講師】○○大学  ○○○○学（内容：○○学に関する講義，対象：主として○学部1年生） ○○学I（内容：○○○○論に関する講義，対象：主として○学部2年生）＊原則として、過去１年以内の実績を記入する。（提出時は、本説明文は削除する。） |